

2023年7月11日

関係各位



JAPAN SOCIETY FOR
TRENCHLESS TECHNOLOGY
一般社団法人 日本非開削技術協会
技術委員長 森 治郎

第34回非開削技術研究発表会 研究発表募集

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、11月7日（火）に開催する「第34回非開削技術研究発表会」の発表者を募集いたします。昨年の発表会では14件の発表が行われ、80人を超える聴講者との間で熱心な質疑応答、情報交換がなされました。

本年も下記のとおり研究発表を募集致します。幅広い事業分野からの積極的なご応募をお願い致します。

敬具

記

1. 論文提出スケジュール

(1) 発表申込期間（論文要旨の提出）

2023年7月11日（火）～2023年9月1日（金） 17時00分

- ・ JSTTホームページからオンラインで提出。

文字数制限 500 文字

<https://www.jstt.jp>

- ・ 本会技術委員会にて採否を決定致します。

(2) 論文提出：

2023年10月13日（金） 17時00分 まで 厳守

- ・ 電子ファイルを日本非開削技術協会 研究発表会係 宛に送付
- ・ 送付先 office@jstt.jp 第34回非開削技術研究発表会 担当

2. 発表申込要領

次頁「第34回非開削技術研究発表会 論文発表申込要領」をご参照ください。

3. 参加登録費

日本非開削技術協会 会 員：無料

非会員：20,000.円

以上

事務局： 一般社団法人 日本非開削技術協会 研究発表会係

【e-mail office@jstt.jp TEL. 03-5639-9970 FAX. 03-5639-9975】

第 34 回 非開削技術研究発表会 論文・報告発表申込要領

1. 発表の内容

非開削技術に関する研究成果の発表および実務、事例報告とし未発表のものに限ります。

2. 発表者の資格（申込時）

- (1) 日本非開削技術協会会員
- (2) 日本非開削技術協会会員の紹介を受けた非開削技術関係者
- (3) 関係官庁、同付属研究機関及び大学等の教授等
- (4) (3)に該当する大学等の教授等の教室に所属する学生（高専、大学、大学院生）
- (5) 上記(1)～(4)以外に非開削技術の研究、施工等に関係する方

3. 論文講演集

論文集を発刊いたします。

4. 第 34 回非開削技術研究発表会の概要

- (1)開催日 2023年11月7日（火）
- (2)場 所 品川シーズンテラスカンファレンス（東京都港区）
聴講者は、Web（Zoom）併用による参加も計画。
- (3)発表方法（予定）
 - ①発表時間 1 編 15 分程度（発表 10 分 質疑応答 5 分：セッション最後にまとめて質問）
 - ②募集数 15 編 程度
- (4)論文・報告 分量
ワード形式 10 ページ以内。10.5 ポイント 23 文字×37 行×2 列 相当 図表込み。
- (5)優秀発表の表彰
本研究発表会技術委員会により優秀発表を表彰する予定としております。
- (6)発表分野
発表分野は以下の 8 分野とします。

発表分野

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| (1) 非開削技術の海外展開 | (設計条件・基準、事例、展開課題 等) |
| (2) 非開削技術の耐震機能・耐震効果 | (耐震機構、事例、効果の評価 等) |
| (3) 管推進技術 | (極小口径管～超大口径管の推進技術 等) |
| (4) 既設管 検査・診断技術 | (管内検査・診断、管外探査 等) |
| (5) 既設管 非開削改築・推進 | (技術方式、事例、品質 等) |
| (6) 地下探査・調査技術 | (探査対象、技術方式、結果の表示・活用 等) |
| (7) 環境保全、ソーシャルコスト（社会的費用）低減貢献 | (要因分析、コスト評価 等) |
| (8) その他の非開削関連の技術 | (技術の将来展望、特殊な活用事例 等) |

5. 応募論文の発表可否に関する判断基準

(1) 宣伝目的の禁止

特定の団体、製品、工法、新技術等を宣伝することを目的とした論文は発表できません。

(2) 非開削技術を扱った研究テーマであること

未発表のテーマであっても非開削技術に関係ないテーマと判断された場合は発表出来ません

(3) 発表可否の判定

発表可否の判定は、「日本非開削技術協会技術委員会」が行います。